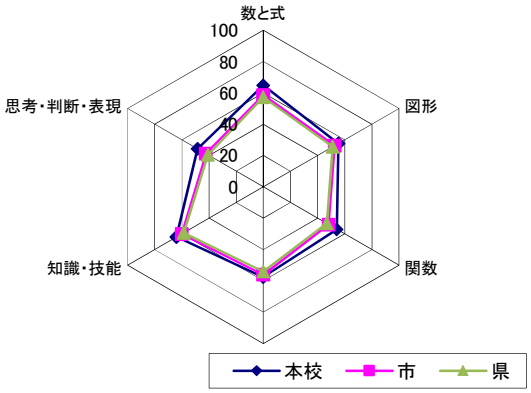
宇都宮市立豊郷中学校 第２学年【数学】分類・区分別正答率

★本年度の県，市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と式	64.8	58.6	57.2
	図形	55.3	52.6	51.1
	関数	54.2	48.2	46.8
	データの活用	57.6	56.1	54.1
観点	知識・技能	64.0	60.2	58.6
	思考・判断・表現	48.5	42.3	40.9



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	○平均正答率は64.8%で県の平均を7.6ポイント上回っている。 ○計算についての正答率は県の平均を大きく上回っている。 ●絶対値の意味を理解しているか問う問題で県の平均を下回っている。	・基本的な問題を繰り返し実施し基本の定着を続けて図っていきたい。 ・ペア学習等で数学の用語の意味について学び合いの学習を通して定着を図っていく。
図形	○平均正答率は55.3%で県の平均を4.2ポイント上回っている。 ○底面が合同な正四角柱と正四角錐の体積の関係を求める問題は正答率が高かった。 ●回転移動の角度について求める問題では、県の平均並で市の平均を下回っている。	・具体物の操作やデジタル教科書を見て、図形や立体について実感を伴った理解を深める指導を行う。
関数	○平均正答率は54.2%で県の平均を7.4ポイント上回っている。 ○式、グラフをかく問題について県の平均を大きく上回っている。 ●与えられたグラフから答えを求める問題は、県の平均、市の平均並であった。	・式、表、グラフについての基本的な問題について繰り返し学習することで引き続き基礎学力を身につけさせていきたい。 ・グラフが何を表していて何を求めるかについて式、表、グラフの3つの考えを使って考えることができるようにペア学習等を通して指導していきたい。
データの活用	○平均正答率は57.6%で県の平均を3.5ポイント上回っている。 ●度数分布表からある階級の累積度数を求める問題は県の平均並で、市の平均を下回った。	・ヒストグラム、度数分布表が何を表し、それを使ってどのようなデータの分析ができるのかを繰り返し指導していくことで、データを分析する力を身につけさせたい。